

第 10 回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日時 昭和 52 年 4 月 27 日（水）

午後 2 時～ 4 時

2. 場所 宇宙開発委員会会議室

3. 議題

(1) 昭和 51 年度 1～2 月期におけるロケット及び人工衛星
の打上げ結果について

説明者：東京大学宇宙航空研究所教授 秋葉 録二郎

〃 〃 林 友直

宇宙開発事業団副理事長 松浦 陽恵

(2) その他

4. 資料

委 10-1 第 9 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨

委 10-2 M-3H-1 号機実験報告

委 10-3 技術試験衛星 II 型の打上げ及び追跡管制結果の
概要

委 10-4 昭和 51 年度 1～2 月期におけるロケット及び
人工衛星の打上げ結果の評価について（案）

委 10-5 昭和 52 年度宇宙開発委員会外国人技術者招へ
いスケジュール

（参考配布）

カナダの宇宙開発について

委10-1

第9回宇宙開発委員会（定例会議）

議事要旨

- 1 日時 昭和52年4月13日（木）午後2時～4時
- 2 場所 宇宙開発委員会会議室
- 3 議題
 - (1) 宇宙開発に関する基本計画について（報告）
 - (2) 昭和51年度宇宙開発委員会外国技術者招へいについて（報告）
 - (3) 昭和52年度宇宙開発委員会外国技術者招へいについて
- 4 資料
 - 委9-1 第8回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨
 - 委9-2 宇宙開発に関する基本計画
 - 委9-3 宇宙開発委員会とローマ大学航空宇宙研究所長
プロリオ教授との会談。議事要旨
 - 委9-4 宇宙開発に関するローマ大学L。プロリオ教授
一行と政府関係者の会談議事要旨
 - 委9-5 昭和52年度宇宙開発委員会外国技術者招へいについて（案）

5 出席者

宇宙開発委員会委員長代理

〃 委員

〃 〃

〃 〃

網 島 毅

吉 識 雅 夫

八 藤 東 福

斎 藤 成 文

関係省庁職員等

科学技術庁研究調整局長

〃 長官官房参事官

文部省学術国際局審議官

工業技術院総務部長

運輸省大臣官房参事官

気象庁総務部長

海上保安庁政務課

郵政省電波監理局審議官

建設省大臣官房技術参事官

運輸省大臣官房政策課

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

〃 宇宙国際課長

〃 宇宙開発課長

團 山 重 道

佐 伯 宗 治

沢 田 徹

（代理：大坂）

杉 浦 博

（〃：木村）

沼 越 達 也

（〃：右近）

宇津木 巖

（〃：高谷）

鈴 木 登

（〃：石井）

門 田 博

（〃：原田）

細 川 弥 重

（〃：渡辺）

里 見 穂

伊 藤 栄 一

三 浦 信

雨 村 博 光 他

6 議事要旨

(1) 前回議事要旨

第8回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨が確認された。

(2) 宇宙開発に関する基本計画について(報告)

事務局から資料委 9-2 に基づいて報告が行われた。

(3) 昭和 51 年度宇宙開発委員会外国技術者招へいについて(報告)

事務局から資料委 9-3 及び 4 に基づいて報告が行われた。

(4) 昭和 52 年度宇宙開発委員会外国技術者招へいについて

事務局から資料委 9-5 に基づいて説明が行われたのち、以

下の質疑応答が行われた。

八藤：会談予定に入っていない関係機関については、会談の場を
考えなくてよいのか。

事務局：会談予定に入っていない関係機関からは特に会談の希望
はなかつたが、なお関係省庁とよく連絡して、必要に応じて
調整したい。

斎藤：カナダがアメリカのシャトル計画にマニピュレータに関し
てどのようにして参加しえたのか知りたい。

また、日加両国の宇宙関係協力については、C T S に関す
る N H K との協力、リモートセンシングの受信局運用に関す
る情報交換、第 5 号科学衛星 (EXOS-A) のテレメータ受信
に関する東大とカナダの間での協力等に留意されたい。

網島：委員との会談は半日だが、どのような内容のものとする予
定か。

事務局：委員との会談では宇宙開発政策全般について話し合い、
具体的なことは各関係機関との会談でと考えている。

吉識：委員会が関知しないまま関係機関との会談で具体的な協力
問題が進展することはないか。

園山：カナダは日本との協力関係を強めたいという意向なので、
具体的なものでなくても、合意すべきものが出てくれば日程
等を変更して再び宇宙開発委員との会談をお願いすることにな
ろう。

網島：以前は共同声明のようなものを出していたが、もう一度考
えてみてはどうか。

事務局：会談の進展状況に応じて対処したい。